

## 市役所の小川さん、哲学者になる 転身力

標記タイトルは小川仁志さんの近著の書名である。とにかく面白く、「ため」になる本だ。「宣伝」をかね目次を紹介しよう。1章 それは挫折のドン底生活から始まった 2章 夢を実現するための転身と、生活を両立させる方法 3章 生きがい発見！「市役所の小川さん」 4章 「働きながら」大学院で研究するという選択 5章 社会人大学院受験のための対策 6章 仕事と大学院、二足のわらじの履き方 7章 プロの研究者を目指す人の<小川式>11のステップ 8章 「哲学頭」で生活も仕事もうまくいく



小川さんは京大を卒業して総合商社に入り、その後「苦難のフリーター」時代を経て、名古屋市職員と大学院生の二足のわらじを履く。徳山高専准教授に採用され、大学院博士後期課程を修了して哲学者として活躍している。本にも紹介されているが、私の前期課程と後期課程の「地方財政研究」の講義に皆勤で出席し、「まるで窮地に立たされた政治家のごとく、いつも熱弁をふるっていた。」光栄なことに、私の講義には2回受講してくれたとのことで、市役所職員から哲学者になった小川さんに感謝したい。

この本を「宣伝」するのは、ぜひ一読してもらいたいからだ。小川さんの転身力が、心の底から伝わってくる。「なにくそ精神」で挫折のドン底から這い上がる姿に感動を感じる。まさに「心が動く、勇気がわく！人生を変えたい人のためのガイドブック」だ。長年にわたり大学に身をおき研究教育を続けている私にとっても、大いに刺激を受け「反省」を迫る内容だ。わが大学院人間文化研究科に対する「小川式」自己点検・評価の書でもある。「名古屋市立大学の名前を私が有名にします」と、博士後期課程に進学したという。この本は名市大、とりわけ歴史が浅い人間文化研究科の名を広めてくれることは間違いあるまい。嬉しいかぎりだ。

(2008年11月24日 記)